

ののいちデジタル田園都市構想総合戦略（改訂版 第2期ののいち創生総合戦略）について

人口減少と地域経済縮小の克服のため、令和2年度から5年間を計画期間とする『第2期ののいち創生総合戦略』を令和2年3月に策定した。令和5年度には、国の総合戦略の改訂を踏まえ、「デジタルの力（デジタル技術）の活用」を全ての施策の基本施策として設定し、横断的な戦略として「新しい時代の流れを力にする」を追加した『ののいちデジタル田園都市構想総合戦略』を策定した。

策定方針

「しごと」を主軸とした、「まち」と「ひと」の好循環をめざす

「しごと」が「ひと」を呼び、「まち」を魅力的なものとし、さらに「ひと」が集まり、「まち」に活力が生まれるという好循環を確立することで、「暮らしやすいまち」としての魅力を高め、「選ばれるまち」を創り出す

基本目標

選ばれる“まち”をめざして ～ 誇りと愛着を持つ、未来の「^{ののいちびと}のゝ市人」のために ～

基本戦略1

しごとを創る

～野々市らしい産業の創出～

（1）次代を担う産業の創出

- ①次世代産業の創出と育成
- ②市内への企業立地の促進
- ③人材の確保と育成

（2）地域産業の再生と強化

- ①6次産業化支援と特産品のブランドの育成
- ②観光の活性化等を通じた交流人口の増加
- ③地域産業の新陳代謝促進と活性化
- ④新しい技術を活用した生産性向上

基本戦略2

ひとの流れを創る

～安心して暮らせる環境づくり～

（1）多様な働き方の確立

- ①ワーク・ライフ・バランスの促進
- ②女性・高齢者・障害者等が活躍する場の拡大

（2）野々市らしい暮らしの実現

- ①結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ②学びの環境の充実
- ③生活のための健康維持

（3）移住・定住の促進

- ①若年層の雇用確保による定住促進
- ②良好な住まいの創出

基本戦略3

魅力的なまちを創る

～地域・広域連携によるまちづくり～

（1）生活基盤の維持と発展

- ①暮らしやすい住環境づくり
- ②地域公共交通の利用促進
- ③地域交流・地域支え合いの拠点の形成

（2）安心な暮らしの確保

- ①高齢者が安心して暮らせる地域の構築
- ②人口減少に対応した地域組織の充実強化

（3）ふるさとづくりの推進

- ①「ふるさと野々市」に対する愛着や誇りを高めるための情報発信
- ②市民と地域との絆の構築
- ③関係人口の創出・拡大

（4）石川中央都市圏等の発展

- ①石川中央都市圏等の推進

横断的な戦略

新しい時代の流れを力にする

（1）デジタル技術の活用

- ①デジタル技術の導入及び活用の促進

（2）SDGsの推進

- ①SDGs推進に向けた教育及び普及啓発の推進

